

【日光田母沢御用邸周辺ハイキング】

2023年12月7日(木)

■往路

乗車・乗換駅	発時刻	着時刻	
草加(急行南栗橋)	6:10	6:46	¥1,225
南栗橋(急行東武日光)	7:03	8:18	
東武日光	2時間8分		¥1,225

■コースタイム(標準の1.2倍) 1.2

チェックポイント	時刻	所要時間	
東武日光	8:30	-	
神橋	8:57	0:27	0:23
憾満ヶ淵	9:19	0:21	0:18
大日橋	9:43	0:24	0:20
花石神社	10:07	0:24	0:20
寂光の滝	11:07	1:00	0:50
飛石八幡神社	11:55	0:48	0:40
田母沢御用邸	12:00	0:04	0:04
昼食と見学(自由)	13:00	1:00	0:50
青龍神社	13:04	0:04	0:04
日光真光教会	13:12	0:07	0:06
東武日光	14:06	0:54	0:45
所要時間合計	5:36		4:40
徒歩距離合計	12.8km		

■復路

乗車・乗換駅	発時刻	着時刻	
東武日光(各駅停車)	14:18	14:27	¥1,225
下今市	14:39	16:13	
南栗橋(急中央林間)	16:18	16:58	
草加	2時間40分		¥1,225

交通費：2,450円

●参加者：16名

高橋(涼)、小坂、大畑、中島、笠原(婦)、
秋山、江村、加藤(栄)、森、福崎、谷川
高原、北爪、笠原(正)、小野寺、角田



【憾(かん)満ヶ淵(まんがふち)】

男体山から噴出した溶岩によってできた奇勝と大谷川の清流が織りなす自然美。川岸に巨岩があり、岩上に晁海僧正(こうかいそうじょう)によって造立された不動明王の石像が安置されていましたが、その不動明王の真言(しんごん)の最後の句から「かんまん」の名がついたといわれています。

【寂光ノ滝(じゃっこうのたき)】

田母沢川にそそぐ沢に落ちる滝。このあたりに昔、寂光寺があったことから名がついたとされています。寂光寺は弘仁11(820)年に弘法大師が開基したと伝えられ、明治4(1871)年の神仏分離で寂光権現が廃され、寂光が若子に改められ若子神社になったと言われています。滝に向かう途中には、池石(生石)と呼ばれる巨石がある。

【日光田母沢(たもざわ)御用邸記念公園】

大谷川の清流を隔てて鳴蟲山を借景とした閑静で風光明媚な場所にあります。日光出身で明治時代の銀行家・小林年保の別邸に、旧紀州徳川家江戸中屋敷の一部(現在の三階建て部分)を移築し、明治32年(1899)に大正天皇(当時皇太子)のご静養地として造営されました。大正10年(1921)に現在の姿となりました。

【日光真光(しんこう)教会】

ガーディナーが眠る静謐な場所。北関東最古のゴシック風礼拝堂です。ガーディナー師、マン婦人宣教師により教会の礎が築かれ、石造りの現聖堂は西参道の国道沿いに威容を誇っています。荘厳な礼拝堂は観光客も多く、コンサートや結婚式も行われています。

矢印凡例：往路 → 復路 →